

八丈島

水産だより

8月号
2019年



底土海水浴場



八丈島夏祭り

7月末に梅雨が明け、強い日差しが照り付ける日が続きます。学校の夏休みが始まり、海水浴場を訪れる人も日に日に増えています。7月19日から21日には恒例の夏祭りが開催されました。歌やダンス、ものまね、そして伝統の八丈太鼓など、いろいろな演目が披露されました。夏祭りは大盛況に終わり、これからの長い夏に向けて、良いスタートダッシュを切ることができたように思います。

■ ムロアジ漁が始まりました

8月1日からムロアジ漁が始まりました。このムロアジ漁は12月まで続きます。八丈島で水揚げされるムロアジのほとんどは「クサヤモロ」という種類です。その名のとおり、昔からくさやの原料として使われています。また、ムロ節や塩焼き、刺身、ミンチなど幅広い加工・調理方法で食べられており、島内では最も重要な魚のひとつです。



ムロアジ(クサヤモロ)



ムロアジのくさや

水揚げの様子

■ 八丈島で栄養士さんの研修が開催されました。



出船中の様子



↑調理実習

↑八丈島産の食材を用いた料理

8月1日から2日間、東京都で働く栄養士さんに向けて生産現場研修が行われました。今年は20人を超える栄養士さんが研修に参加しました。研修では農場の見学や、船に乗ってひき縄漁の見学をするなど、生産者の視点を体験しました。また調理実習も行われ、八丈島漁協女性部が講師として八丈島の食材を用いた料理を教えました。今回の研修を経て、より多くの学校に八丈島の味が届けられることを楽しみにしています。